

中野市保育所あり方検討懇話会の提言に係る方向性について

■課題1. 少子化が進む小規模な園の対応

○今年度と令和3年度予定人数との比較

	年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
長丘保育園	令和2年	-	4人	5人	7人	5人	10人	31人
	令和3年	-	1人	5人	4人	6人	4人	20人
永田保育園	令和2年	-	3人	4人	3人	4人	11人	25人
	令和3年	-	1人	3人	5人	4人	4人	17人
豊井保育園	令和2年	3人	7人	7人	6人	13人	11人	47人
	令和3年	2人	5人	10人	6人	5人	13人	41人

※令和2年度については12月1日現在、令和3年については12月現在の予定数です。

- ・混合保育を実施してクラス編成、保育士の配置を行っている。
- ・運営費、園児受け入れ人数の面で非効率。
- ・他園と同様のイベント開催が難しい。
- ・友達との交流・育ちの面で不安がある。

■課題2. 施設が老朽化してきている

特に 長丘保育園	昭和43年度建設	木造 築52年	定員 80人 (現3クラス 31人)
平野保育園	昭和52年度建設	鉄骨造 築43年	定員210人 (現11クラス 181人)
高丘保育園	昭和50年度建設	軽量鉄骨造 築45年	定員140人 (現8クラス 96人)
松川保育園	昭和53年度建設	鉄骨造 築42年	定員160人 (現9クラス 136人)

- ・昭和56年以前の建築物であり、耐震基準も満たしていない可能性が高い。
- ・国からの公的補助が無い場合、財源の確保が難しく、施設の整備が事業として確立しない状況。
- ・少子化に伴い、今後4園の建替えは困難。
(非効率なものとなる上、将来使われなくなってしまう可能性もある)

■課題3. ニーズに合わせた保育サービスの拡充

概ね満足いただいているといった意見が多いが、拡充してもらいたい内容もある

- ・病児・病後児保育の手続き簡便化
- ・年度末・年度始め保育の実施
- ・サービスに対応するための保育士の確保

課題への対応の方向性

- ・就学を見据え、集団としての活動の充実が図られるよう少人数の園については、休園・廃止・統合を検討する 【対象：長丘、永田、豊井保育園】 (課題1)
- ・統廃合に伴う保育士配置の効率化、各園の受入れ数増を図る (課題1・課題2・課題3)
- ・老朽化が著しい施設の建替えに当たっては、国の補助金等を活用し、民間事業者による整備を検討する (課題2)
- ・民営化により多様なサービスの充実を図る。また、民営化により公立保育所の保育士を再配置することで保育士不足の解消を図る 【対象：民営化が可能な保育園】 (課題3)

提言書の構成案について
平成18年度開催の懇話会提言書を参考に

構成

1. はじめに

現状について記載。

2. 懇話会での検討事項

○懇話会でこれまで行ってきたこと

- ・施設の現状の視察
- ・保護者からの意見（アンケート調査）

その他保育課提示資料について議論
（少子化、運営費用等）

H18骨子

園児を把握することができる範囲
園の定数の上限
全体数の減少と未満児増加への
対応
地域性と園選択の自由
時代により変化する保育ニーズ

議論した事項（懇話会要綱の内容に基づき以下（1）から（3）について議論）

（1）保育所の**適正規模・適正配置**に関する事項

- ・園児の定数に関すること（園児を見れる人数）
- ・保育園の配置

意見

- ・適正規模は保育園全体の人数で決めるべきではなく、クラス編成で考えるべきではないか。4・5歳児1クラス30人は厳しいのでは。
- ・アンケートによって、保護者の希望する保育園の配置等のニーズが出たのではないか。大勢の中で遊べる良さがあるなら、利点を押していく提言をするべきではないか。

（2）保育所の**民間委託、民営化**に関する事項

- ・メリット
- ・デメリット
- ・保育士の処遇
- ・運営費に関すること
- ・保護者の印象、要望

意見

(3) 保育サービスに関する事項
アンケートからわかること
保護者の要望
・病児・病後児保育の拡充
・年度末・年度始め保育の実施

H18骨子
施設
保育士等の資質
新たな保育サービス
既存の保育サービスの充実
経費

意見

3. 検討結果の方向性及び要望事項

保育所の適正規模・適正配置について

- ・少数となっている保育所に関しては、集団保育による育ち等を考慮し統廃合を行い、効率的な保育所運営と保育の質を維持すべきである。
- ・長丘保育園、永田保育園については、少人数化が著しいことから統廃合について、検討を行うべきである。
- ・今後整備する保育園については、小学校区を考慮し配置を検討することとされたい。

保育サービスの充実について

- ・多様化する保育ニーズに対応することを目的に、民間活力の導入、民営化を検討願う。
- ・他自治体のものも参考にし、保育所のサービス充実を図られたい。

保育所の整備について

- ・老朽化し、また耐震性にも不安がある、平野保育園、高丘保育園、松川保育園については、新たな施設の整備を検討すべきと考える。
- ・施設の整備にあたっては、民営化も検討し、効率的な整備を行うこと。

4、おわりに

保育所の役割（子どもたちが最初に体験する外の社会である）